

平成26年度事業報告

第37期(平成26年4月1日から27年3月31日まで)

I 事業の状況

郷土おかやまの自然や文化的遺産に対する県民の理解を深め、保護・保全・景観の美化等に努めるとともに、郷土ゆかりの先賢の顕彰と、伝統に根ざした新たな地域文化の創造を目指し、県、市町村、民間団体等と連携して次の事業を実施した。

1 文化財等保護活用事業

(1) 自然保護事業

・蒜山タンチョウの里(真庭市)の支援

引き続き運営支援を行った。

・(公社)日本ナショナル・トラスト協会との連携

全国のトラスト活動について情報収集を行うとともに、行事等の情報提供を行った。

(2) 伝統的工芸品復活・普及支援

・備中漆の復活に取り組んできた(社)林原共済会を支援するため、当財団が平成6年から無償借用していた真庭市(旧川上村)及び新見市の市有地(山林、計約7.6ha)の契約期限到来に伴い両市にそれぞれ土地を返還するとともに植栽した漆の木を寄附した。

・備中うるし利活用協議会の事務局として普及啓発事業を支援した。また、“備中漆を守ろう！”募金を継続し、寄せられた3,232,000円(計427件、うち本年度13件106,000円)を備中漆の復興事業に有効に活用した。

(備中うるし利活用協議会)

第1回総会 9月30日(火)、第2回総会 3月27日(金)

(普及啓発事業の支援)

日本伝統工芸展関連事業「もっと伝統工芸 備中漆」展の共催

岡山県立美術館 11月8日(土)～12月14日(日)

(3) 文化財の保護

平成22年度に整備した池田光政公御涼所跡の「かんとうのひ甘棠碑と遺愛いあいのうめのひ榎碑」及びウメ(花香実)の

広報並びに地元町内会等と協働して維持管理に努めた。

(4) 文化財庭園「後楽園」の活用と伝統の維持、普及

伝統的な行事等を行い、岡山後楽園の活用と伝統の維持に努めた。

・「岡山後楽園で能をたのしむ会」の開催

岡山後楽園能舞台 10月4日(土)

番組 能 「井筒」、「天鼓」

出演者 観世流 山崎 芙沙子、山崎 浩之ほか

狂言 「仏師」

出演者 大蔵流 善竹 忠重ほか

解説 京都府立大学教授 山崎 福之

・茶つみ祭 5月18日(日) 美作市海田茶摘み踊り保存会

・お田植え祭 6月8日(日)

哲西町はやし田植保存会、神代郷土民謡保存会(いずれも岡山県指定重要無形民俗文化財)

・観蓮節 7月6日(日)

・名月観賞会 9月8日(月)(旧暦8月15日)

・初春祭 1月1日(木・祝)～3日(土)

箏曲演奏やタンチョウの園内散策など、元日は入園無料

・田植体験(井田) 6月9日(月) 岡山市立中央小学校5年生

・稲刈り体験(井田) 10月8日(水) 岡山市立中央小学校5年生

・造園教室の開催

第1回「後楽園ハナショウブ株分け教室」 7月1日(火)

第2回「ミニ井戸蓋作り」 10月14日(火)

第3回「箱庭作り教室」 12月9日(火)

第4回「苔玉作り教室」 2月15日(日)

・岡山後楽園一般公開130年記念講演「後楽園の130年」 8月10日(日)

場 所 岡山後楽園鶴鳴館

講 師 万城主任研究員

参加者 約30人

・岡山後楽園一般公開130年記念 後楽園資料特別展及び解説会

12月20日(土)～1月12日(月・祝)

場 所 岡山後楽園鶴鳴館

解 説 万城主任研究員

- ・第4回後樂園写真コンテスト～あなたが見つけた後樂園の美～

募集期間 7月1日(火)～9月30日(火)

表彰式 12月20日(土)

第4回後樂園写真コンテスト 入賞作品38点を展示

12月20日(土)～1月12日(月・祝)

- ・キラリ清掃活動 年21回及びキラリ応援隊一日隊 12月14日(日)

ボランティアによる園内の一斉清掃、参加者には後樂園無料入園券を1枚進呈

(5) 後樂園専任ボランティア「後楽塾」10期生の育成

後樂園及び郷土岡山の歴史・文化について学び、その知識を活かしながら、園内ガイドやイベントスタッフとして活動する「後楽塾」10期生を育成し、広く文化財庭園「後樂園」の魅力を発信した。

- ・募 集 6月11日(水)～10月10日(金)

- ・塾 生 12人

内訳 一般コース 12人(男性 5人・女性 7人)

英語ガイド4人、韓国語ガイド1人を含む。

- ・入塾式 11月12日(水)

3月までに15回の基礎講座を終え、3月20日(金)から園内ガイドや行事補助などのボランティア活動を行う。活動期間は、平成29年3月31日まで。

- ・8期生のうち希望者が後樂園キラリ応援隊のガイド部門で活動中

24年5月入塾、8月31日(日)卒塾、13名(男6名、女7名)

- ・9期生(8人)が塾生として活動中 平成28年3月31日までの2年間

(6) 岡山後樂園 延養亭特別公開と園内ガイド

岡山県と共催で一般を対象に特別公開を実施

延養亭の室内と、延養亭に隣接する茶室「臨漪軒」(非公開)の解説を交えての見学会

- ・延養亭特別公開と園内ガイド 10月20日(月)～11月3日(月・祝)

午前10時から1日6回(各30分程度)

各回15名(定員に余裕があれば、当日参加申し込みも受入)、参加者数 1,238人

(7) 先賢の顕彰

1) 郷土ゆかりの先賢顕彰

- ・財団が多くの資料を収集している内田百閒についてテレビ、ラジオ番組等で紹介

2) 秋の企画展関連イベント 「和文化を楽しむ会」の開催

犬養木堂生家及び木堂塾において「和文化を楽しむ会」を開催し、「犬養木堂」の事績と記念館、生家の魅力発信に努めた。

日 時 11月1日(土) 10時～15時

会 場 犬養木堂記念館内 木堂生家 木堂塾

協 力 投壺と投扇興を楽しむ会、中国学園大学茶道部

3) 「第30回記念毎日現代書関西代表作家展」特別陳列に協力

秋田時代の書など木堂書作品15点を展示

会 期:1月15日(木)～20日(火)

会 場:あべのハルカス近鉄本店ウイング館8階 近鉄アート館

4) 「内田百閒」の顕彰

・内田百閒記念碑園(岡山市中区旭川河川広場)の維持管理を行った。

・内田百閒生誕125年 後樂園一般公開130年記念 内田百閒朗読会「古里を思ふ」

日 時 8月2日(土) 後樂園鶴鳴館 参加者 60人

内田百閒が幼い頃に遊び「夢の園」と書き残した後樂園の歴史をゆかりの作品の朗読や関係資料とともに紹介した。

2 普及啓発事業

(1) 郷土文化講座等の開催

岡山の自然・歴史・文化等について理解を深めるため、岡山の自然・文化・歴史に関する講座を開催した。

1) 岡山県立図書館会場

ア 2月10日(火)

「自然災害への備えについて」

講 師 松尾 茂樹 (岡山県危機管理監)

参加者 48人(うち会員 31人)

イ 2月17日(火)

「中世荘園の世界 -新見荘と東寺百合文書-」

講 師 辰田 芳雄 (岡山地方史研究会会員・筑波大学博士(文学))

参加者 99人(うち会員 43人)

ウ 3月10日(火)

「倉敷市所蔵「薄田泣菫文庫」資料をめぐって」

講師 加藤 美奈子 (就実短期大学生生活実践科学科准教授)

参加者 38人(うち会員 23人)

2) 木堂祭、犬養木堂記念館講演会の開催

・木堂祭記念講話 5月15日(木)

演題 「犬養木堂の政治教育観」

講師 時任 英人 (倉敷芸術科学大学教授)

その他の催し お抹茶の接待・箏の演奏・生け花の展示

3) 岡崎嘉平太記念館講演会の開催

・「岡崎嘉平太がめざした 世界平和への道を考える」第十三回講演会

日時 11月24日(月・祝) 13時30分～16時

会場 吉備高原リゾートホテル 多目的ホール(きびプラザ3階)

演題① 日中友好の架け橋 岡崎嘉平太先生の思い出 —今こそ岡崎精神で、日中友好の絆を—

講師 朱 金諾(しゅ きんだく) (全日空マーケティング室(中国室)常任理事)

演題② 歴史としての日中民間貿易 —岡崎嘉平太とLT/MT貿易の軌跡—

講師 井上 正也 (香川大学法学部准教授)

・「中国文化に親しむ講演会」

日時 1月20日(火) 13時～

会場 吉備高原リゾートホテル 多目的ホール(きびプラザ3階)

演題 NHK スペシャルシリーズ故宮制作秘話を聞く

講師 増田 秀樹 (NHK 大型企画開発センターチーフ・プロデューサー)

4) 第四回おかやま文化フォーラム「今、中世の実像を求めて」の開催

主催 郷土文化財団

共催 岡山県

後援 山陽新聞社

日時 11月29日(土) 13時30分～

場所 岡山県立美術館ホール

基調講演 「今、中世の実像を求めて」

久野 修義 (岡山大学大学院教授)

事例発表「中世の生存環境」

西尾 和美 (ノートルダム清心女子大学教授)

「考古学から見た中世の村・館・城ー鏡野町久田遺跡群の発掘調査ー」

弘田 和司 (岡山県古代吉備文化財センター調査第三課長)

ディスカッション

久野 修義、西尾 和美、弘田 和司

それぞれの立場から中世の実像について語った。

参加者 約150人

(2) 広報誌「きび野」の発行

年4回発行 A5判 約16ページ 4,500部/回

(3) 財団ニュース「お知らせ」の発行 2,800部/回

会員に財団事業の案内等、随時発行・インターネット公開

(4) 現地研修会の開催

郷土ゆかりの自然や文化財等を現地に訪ねて学習するとともに、県内美術館、博物館の優れた美術品の鑑賞会等を開催した。

1) 自然と文化を訪ねるバスの旅

・黒田官兵衛ゆかりの地を訪ねるコース

岡山市北区、瀬戸内市 6月17日(火)

説明:蛙ヶ鼻築堤跡・高松城址公園 高橋伸二岡山市教育委員会文化財課主査

備前福岡(瀬戸内市) 松尾昭男福岡観光ボランティアリーダー

若松拳史瀬戸内市産業振興課主査

参加者 88人(うち会員 81人)

・特別展「護国山曹源寺」及び没後300年 池田綱政の面影をたどるコース

岡山市北区、中区 10月21日(火)

解説:和田剛岡山県立博物館学芸員(特別展)

万城あき主任研究員(後楽園、二の荒手、一の荒手、沖新田、曹源寺ほか)

安倉清博元政田民俗資料館管理員、秦俊治宮司(沖田神社)

参加者 62人(うち会員 49人)

2) 産業考古学会 2014 年度全国大会プレ見学会 11月14日(金)

説明:小西伸彦吉備国際大学准教授、万城あき主任研究員

禁酒会館等の岡山市内の近代化遺産や後楽園、岡山城周辺の文化遺産の見学

参加者 30人(うち会員 15人)

3) 美術等鑑賞会

ア 岡山県立美術館

- ・特別展「岸田吟香・劉生・麗子 知られざる精神の系譜」及び岸田吟香ゆかりの地を訪ねるコース

美咲町、吉備中央町 4月25日(金)

解説:高嶋雄一郎岡山県立美術館学芸員(特別展)

説明:加原奎吾元旭町教育長、飯田純子旭民話語り部(岸田吟香記念館、生誕の地等ゆかりの地)

参加者 44人(うち会員 41人)

- ・第61回「日本伝統工芸展岡山展」及び同展関連事業「もっと伝統工芸 備中漆」の美術鑑賞会 11月20日(木)

解説:福富幸岡山県立美術館主任学芸員

参加者 46人(うち会員 12人)

イ 岡山県立博物館

- ・特別展「山田方谷」解説会(岡山県立博物館) 6月20日(金)

解説:竹原伸之学芸課副参事

参加者 58人(うち会員 46人)

- ・企画展「岡山の城と戦国武将」解説会(岡山県立博物館) 8月8日(金)

解説:佐藤寛介学芸員

参加者 65人(うち会員 36人)

- ・「戦国大名 宇喜多氏と長宗我部氏」解説会(岡山県立博物館) 1月23日(金)

解説:内池英樹学芸課主幹

参加者 52人(うち会員 29人)

ウ 林原美術館

- ・「林原美術館の知られざる名品展」鑑賞会(林原美術館) 5月16日(金)

初公開となる「鷹弥宛宇喜多直家自筆書状」、江戸時代の書家である佐々木志津摩筆の岡山藩学校の扁額の本紙、歴代岡山藩主や近世狩野派の絵画、文人画などの観覧

解説:浅利尚民学芸課課長

参加者 44人(うち会員 20人)

エ 岡山シティミュージアム

- ・特別展「岡山に生きた豊臣家～備中足守藩木下家資料～」鑑賞会

1月29日(木)

豊臣秀吉の正室・ねねの実兄である木下家定から始まり、明治維新まで続いた備中足守藩の貴重な文化財を観覧

解説:小野田伸館長補佐

参加者 55人(うち会員 33人)

オ 吉備路文学館

・特別展生誕130年記念「一酒と友と旅を愛した、あくがれゆく歌人―若山牧水展」
及び若山牧水ゆかりの地を訪ねる特別現地研修会 3月4日(水)

展覧会観覧後、「幾山河…」の歌が詠まれた哲西町二本松峠まで牧水が歩いた道をたどった。

途中、高梁の老舗旅館「油屋」で清水比庵の部屋を見学。

解説:遠藤堅三吉備路文学館館長、奥富紀子主任学芸員(特別展)

説明:水地秀寿哲西牧水顕彰会会長(牧水二本松公園)

参加者 79人(うち会員 69人)

(5) 印刷物等の作成

財団で収集した資料や開催した講演記録等を編集して配布した。

1) 「岡山の自然と文化」の印刷配布

平成25年度郷土文化講座の講義録 No.34を編集、配布した。

3,500部(3月)

2) 「岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える 第十三回講演会講演集」

500部(3月)

(6) 「文化財団の歩み」の編集

引き続き財団発足以来の歴史を編集した。

(7) インターネットのホームページ更新

財団事業の普及を図るため、ホームページの充実を行った。

(8) 内田百閒及び生田安宅(医学者)資料の整理保存

御遺族などから寄贈された内田百閒及び生田安宅ゆかりの品々を整理保存した。

(9) 財団収集資料の公開

引き続き、収集資料の寄託による公開等を行った。

1) 植物関係図書・文献の整理公開

・植物研究家難波早苗氏から譲渡された資料(書籍約5,300冊、雑誌約7,000冊)を県立図書館に寄託

・植物標本(約3,300点)を岡山県自然保護センターに寄託

2) 郷原漆器資料の公開

財団が郷原漆器復活のために収集した郷原漆器(約60種類、約700点)を岡山県立博物館に寄託

3) 郷土画家の秀作の公開

財団が購入及び寄贈を受けた郷土画家の秀作(6人、10点)を岡山県立美術館に寄託

(10) 資料収集・調査研究

文化財等や先賢に関する資料の収集、保存を進めるとともに、その成果の活用に努める。

・岡山後樂園関係資料

松野吉孝氏から寄贈 尾上松之助写真パネル

・犬養木堂関係資料

難波修平氏から寄贈 木堂はがき、犬養健書簡

中藤公平氏から寄贈 備前焼犬養毅像、木堂書軸

川本武史氏から寄贈 木堂書(印刷)

新谷恭二氏から寄贈 迎犬養先生(健)記念写真(複製)

藤原祥男氏から寄贈 木堂記念写真

Mariko Fukuda Blackburn 氏(岡山市国際課経由)から寄贈 犬養毅レリーフ

三村重人氏から寄贈 書籍「高人犬養木堂」、「近代史上の岡山県人」

宮脇俊作氏から寄贈 犬飼松窓先生伝

間野正美氏から寄贈 犬養健書額

香西寿男氏から寄贈 木堂書色紙(印刷)

小野加津子氏から寄贈 木堂写真、書簡(印刷)、犬養健書簡、木堂雑誌等

・岡崎嘉平太関係資料

岡山県国際課から寄贈 吉備真備記念碑拓本

赤木制二氏から寄贈 写真額「総社尋常高等小学校卒業写真」

石野栄助氏、福島大助氏から寄贈 岡崎嘉平太著「サラリーマンの人生経営」

荻野茂雄氏から寄贈 岡崎嘉平太講演 CD

則井保博氏から寄贈 岡崎嘉平太著「二十一世紀へのメッセージ」ほか著作及び色紙

3 地域文化振興事業

(1) 演奏会等の開催

日 時 10月26日(日) 14:30 開演

会 場 井原市芳井生涯学習センター

内 容 岡山交響楽団による演奏及び地元、芳井中学校の吹奏楽部との共演、ロビーコンサート、指揮者体験、楽器紹介など

共 催 井原市・井原市教育委員会

(2) 伝統的工芸品保存事業

岡山県指定重要無形民俗文化財(民俗技術)に指定された郷原漆器展示即売会「おしらせ」等による広報面での支援を行った。

期 間 12月16日～18日

場 所 晴れの国おかやま館(岡山市北区表町)

期 間 1月17日～23日

場 所 倉敷天満屋4階美術画廊

(3) 各種団体との共催事業等

1) 第29回「下津井節全国大会」の共催

開催日 9月27日(土)・28日(日)

場 所 倉敷市児島文化センター

主 催 下津井節振興会、児島瀬戸大橋まつり振興会

2) 平成26年度「岡山県自然保護センター写真展」の協賛

募 集 4月1日(火)～11月20日(木)

27年度中に岡山県自然保護センター、環境学習センター「アスエコ」(岡山市北区下石井2丁目)、モンベル岡山店(岡山市南区下中野)、操山公園里山センター(岡山市中区沢田)で展示

主 催 岡山県自然保護センター、公益財団法人岡山県環境保全事業団

3) 後援

「第69回春の院展・倉敷展」ほか52事業

(4) 郷土文化財団会員作品展の開催

県内各地で様々な文化的創作活動が促進されるよう、財団会員により制作された絵画や写真等の作品を紹介する展覧会を開催した。

・天神山文化プラザ

会 期 5月20日(火)～25日(日)

出 品 134点 (絵 画 88点、写 真 45点、タペストリー 1点)

・関連イベント 平成25年度の財団事業報告のパネル及び財団新収集資料で明治22年に記された後樂園買い戻しに関する「池田章政書状」を展示

入場者 1,044人

(5) 苗木配布事業

古くから親しまれてきたサクラ・ウメの苗木を市を通じて地元コミュニティに交付した。

・津山市 (津山市神代、津山市神代梅の里)

鹿児島紅梅 80本

・赤磐市 (赤磐市山陽二丁目、弥生公園)

ヤマザクラ 50本

4 受託事業

(1) 後樂園の管理運営

「後樂園」の管理を県から受託し、実施した。

・夜間特別開園「幻想庭園」 8月1日(金)～8月31日(日)

・夜間特別開園「秋の幻想庭園」 11月4日(火)～16日(日)

・タンチョウの園内散策 9月28日(日)、10月26日(日)、11月23日(日)、1月1日(木・祝)、
1月3日(土)、2月22日(日)

(2) 自然保護センターにおけるタンチョウ飼養管理及び傷病鳥獣の保護、入園者に対するガイド・指導等

(公財)岡山県環境保全事業団から受託し、実施した。また、真庭市での蒜山タンチョウの里(25年3月オープン)の運営を支援した。

・タンチョウヒナの誕生(9年ぶり) ♂ ナイン

(3) 犬養木堂記念館、生家の管理運営

先賢を顕彰するため指定管理者として記念館、生家の管理運営及び資料収集整理並びに企画展等の業務を実施した。

1) 第20回 犬養木堂顕彰児童生徒書道展 4月2日(水)～5月6日(火)

特別賞 25点 入賞 412点 入選 385点

- 2) 一品展25 5月31日(土)～6月29日(日)
展示品 木堂の息子 健により「絶筆の一つ」といわれた色紙「山林自有不朽業」と五・一五事件の号外記事
- 3) 犬養木堂顕彰児童生徒書道展20回記念展「木堂と子どもたちの書2」
7月19日(土)～8月31日(日)
第11～20回の書道展特別賞受賞作品、木堂書の屏風「劉楨咏松詩」ほか約15点を展示
- 4) 秋の企画展 「犬養木堂からのメッセージ」 10月11日(土)～12月7日(日)
木堂書簡、犬養木堂先生専念箴、木堂書額「克勤克儉」、雑誌など、木堂が後進へ送った書や書簡、書跡などを展示して「木堂の思い」を紹介
- 5) 秋の企画展関連イベント 「和文化を楽しむ会」(再掲)
- 6) 常設展 新春特別陳列 木堂の「はじめて」と寿ぎ 1月5日(月)～26日(月)
木堂の年賀状や寿ぎの書、木堂誕生祝いについて記した仙次郎出生諸留や上京後はじめて出した手紙など木堂の「はじめて」に関する資料を展示
- 7) 一品展26 1月24日(土)～2月22日(日)
展示品 剣道の道場へ書き贈った額「至大至剛」と木堂が揮毫用にメモしていた文言一覧
- 8) 第21回 犬養木堂顕彰児童生徒書道展 作品募集、審査表彰
表彰式 2月28日(土)
- (4) 岡崎嘉平太記念館の管理運営及び資料収集整理並びに企画展
先賢を顕彰するため指定管理者として記念館の管理運営、資料収集整理並びに企画展等の業務を実施した。
 - 1) 加賀中学校開校記念 岡崎嘉平太記念館新所蔵品展～若者達へのメッセージ～
4月9日(水)～4月20日(日)
 - 2) 第8回「嘉平太が愛したふるさと岡山 心なごむ風景 写真展」
 - ・岡崎嘉平太記念館会場
5月3日(土・祝)～7月5日(土)
 - ・天満屋地下タウン アートスペース会場
7月9日(水)～14日(月)
 - 3) 秋の特別企画展「人間 岡崎嘉平太の魅力」
9月22日(月)～12月26日(金)

- 4) 第7回「嘉平太が愛したふる里 子ども作品展」
2月27日(金)～3月8日(日)
- 5) 「岡崎嘉平太記念館だより」の発行(7月・1月)
- (5) 第十二回 岡山県「内田百閒文学賞」の審査・表彰
文学賞作品募集等に関する業務を県から受託し、作品審査・表彰業務等の企画・運営を行った。(応募作品 306編)
- ・運営委員会 6月26日(木)開催 審査要領等の決定
 - ・第1次審査 8月22日(金)、第2次審査 9月26日(金)
 - ・最終審査 12月3日(水) 審査員 小川 洋子 奥泉 光 平松 洋子
 - ・表彰式 3月18日(水) 岡山県立美術館ホール
- 最優秀賞 「漱石の忘れもん」 三ツ木 茂 岡山市在住
- 優秀賞 「夕凧から」 里海 瓢一 神奈川県鎌倉市在住
- 「硬い水」 畔地 里美 石川県加賀市在住
- 「字隠し」 小田 由紀子 岡山市在住